

8月は「フーテンの寅さん」とゆかりの深い月です。国民的映画『男はつらいよ』の第1作目が公開されたのは1969年8月。寅さんを演じた渥美清さんが亡くなったのは1996年8月。寅さんがお盆にふらっと柴又まで帰って来ることはもうありませんが、今でも空の上で自由気ままな旅を続けているのでしょうか。

## 今さら聞けない 経済用語

### 今月の教えてキーワード：【ミレニアル世代】

ミレニアルとは「千年紀の」という意味で、アメリカで2000年代に成人あるいは社会人になる世代のこと。1980年代から2000年代初頭までに生まれた人を指すことが多く、それ以前の世代とは消費行動や価値観などが異なるとされる。生まれたときからIT機器やインターネットが普及している環境であることから「デジタルネイティブ」とも呼ばれる。日本においてもマーケティングや人事管理の領域で注目を集めている。

## 社労士がズバズバ！職場のQ&A

### 【社員が死亡した際の手続きを教えてください】

**Q:** IT企業で人事を担当しています。創業10年を前に会社全体で業務のマニュアル化を進めています。その中で、社員が死亡した際に必要な手続きについてマニュアルがないことに気付きました。社員の死などあってほしくはないですが、万一に備えて準備しておこうと思います。必要な手続きを教えてください。

**A:** 社員の死亡という不測の事態に備えたマニュアルの作成は必要です。死亡原因の違いにより事務手続きは異なりますが、労働保険と社会保険の諸手続きは法令のとおり行います。遺族が行う手続きについても、要請があれば会社が申請の代行や支援に手を差し伸べることは大事なことです。また会社からの弔慰金の金額、死亡後に支払う退職金や賞与の支払い方法など、会社としての取り決め事項があれば就業規則に盛り込んでください。なお、死亡後に支給期の到来する給与・賞与・退職金などは相続税の対象となりますので所得税は控除しないこと、本人死亡後の支払い相手については、就業規則に「その者の収入によって生計を維持されていた者の請求により支払う」と記載することで早期に支払えるようにしておくといでしょう。



### 今を生きる 先人の言葉

成功や失敗ではなく  
この壁を越えてみたい

日本の登山家である栗城史多（のぶかず）の言葉。目の前に立ちちはだかる大きな壁。それは限界を決めている自分自身という壁かもしれない。さあ、乗り越えよう！

～打ち水～

酷暑の夏、皆様いかがお過ごしですか？年々暑さが増しているように感じます。熱中症にはお気を付けくださいね。さて、このように暑い夏は少しでも涼しく過ごせる工夫も必要です。その一つに、“打ち水”があります。社会実験も行われ効果があると注目されました。路面だけでなく、マンションやアパートなどのベランダに撒いても有効的だそうです。時間は、気温が上がっていない朝や気温が下がり始める夕方がお勧めです。また、打ち水の際は、できるだけ水道水ではなくお風呂の残り水、雨水などを利用するとよいようです。ぜひ一度お試しください



## 365日が楽しくてたまらない！「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント：【フーテンの寅さんから商売を学べ】

「わたくし、生まれも育ちも東京葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い、姓は車、名は寅次郎。人呼んでフーテンの寅と発します」。テンポの良いおなじみの名セリフを懐かしく思い出す方も多いでしょう。22年前に渥美清さんが亡くなったとき、フランスのル・モンド誌は「下町の英雄、寅さん逝く」と題した渥美清さんの



評伝を掲載しました。靴ひとつで日本全国を気ままに旅する寅さんは、日本人が憧れる「小さな自由」を映画の中で具現していると述べ、寅さんを演じた渥美さんを「劇中の人物になりきったまれな役者」と高く評価しました。寅さんのあの自由さはどこからやって来るのか。「フーテン」とは仕事も学業もしないでブラブラしている人のことですが、寅さんは、実はたいした商売人だったのではないのでしょうか。『男はつらいよ 拝啓車寅次郎様』にこんなシーンがありました。靴の

会社で営業をしているおいつ子の満男が、仕事がつまらないと愚痴をこぼします。それを聞いた寅さんは、そのへんにあった鉛筆を満男に渡して「オレに売ってみな」と言うのです。満男はしぶしぶと「この鉛筆を買ってください」と寅さんにセールスをします。「消しゴム付きですよ」と特長をアピールしますが「僕は字を書かないから鉛筆なんて必要ありません」とすげなく断られてしまいます。満男が「こんな鉛筆は売りようがない」とさじを投げると、寅さんは満男から鉛筆を取り上げて「この鉛筆を見るとな、おふくろのことを思い出してしょうがねえんだ」と、鉛筆にまつわる話をしみじみと語り始めました。もちろん即興の作り話ですが、これが実にうまいのです。細い目をもっと細めて、本当に懐かしそうに鉛筆を見ながら情感たっぷりにあの名調子で語ると、その場にいた家族全員が寅さんの話に心を奪われ、みんなその鉛筆が欲しくなってしまうのでした。鉛筆を「モノ」として売ろうとした満男と、鉛筆の「価値」を伝えた寅さん。つまり寅さんは、物を売るとはどういうことかを満男に実演して見せたのです。「どんな価値を付けるのか」今一度、自身の商売を見つめ直してみたいですね。



### ～ 今月の税務・労務 ～

#### 国税

特別な処理事項なし

#### 地方税

個人住民税第2期分の納付

個人事業税第1期分の納付

#### 労務

特別な処理事項なし

社会保険の報酬月額算定基礎届

10日まで

#### 和泉会計事務所

〒170-0013

豊島区東池袋 1-25-2

朝日生命池袋ビル 9F

電話：03-3984-9595

FAX：03-3988-0835

